

## ◆「教育のためのプラネタリウム」制作の経緯

1991年

8月20日 第5回天文教育研究会でプラネタリウムワーキンググループ設立。

12月10日 天文教育普及研究会回報7号に報告を掲載。

1992年

1月30日 第1回会合。（渋谷・五島プラネタリウムにて）

WGの最初の活動を、プラネタリウム設置基準作成と決定。

3月 3日 第2回会合。（板橋区立教育科学館にて）

目次、各自の担当項目が決定。各自原稿作成開始。

6月 4日 第3回会合。（大阪市科学館の近所の喫茶店にて）

原稿の添削方法について決定される。第1回日本プラネタリウム協会総会（JPS）で設置基準作成について簡単に報告。

6月10日 回報9号に、第1、2回会合の報告を掲載。

7月14日 第4回会合。（渋谷・五島プラネタリウムにて）

第1稿完成。全体の構成、添削の方向について議論された。

8月 8日 第5回会合。（相模セミナーハウスにて）

全体の構成が決定。第1稿に修正が加えられ、各担当者が書き直すことになった。WGの活動について第6回天文教育研究会で発表。

10月14日 第6回会合。（渋谷・五島プラネタリウムにて）

日プラ協との調整などについて話合われた。

12月 2日 第7回会合。（平塚市博物館にて）

ですます調採用、部数、価格など、具体的な内容について討議。

本の題名は「教育のためのプラネタリウム」と決定。

12月10日 回報10号にプラネタリウムに関するアンケートを掲載。

1993年

1~2月 レイアウトを含め第2稿完成。完全原稿の形で出力し、全員に配布。

3月 9日 第8回会合。（ホテル・ザ・エルシィ町田にて）

WG以外の会員も含め、第2稿の修正が行なわれた。

4月16日 修正案にそって、最後の原稿の修正を行なう。

5月25日 第9回会合。（杉並区立科学教育センター）

切りばりでオフセット原稿（最終稿）作成。

6月16日 印刷業者に入稿。

7月 1日 完成。本は葛飾区郷土と天文の博物館で保管。

1998年

3月 第2版発行。